

2022年4月18日

船舶データを解析するウェブアプリケーションサービス 「HiZAS[®]VDA」の販売を開始 ～船舶運航のDXを支援～

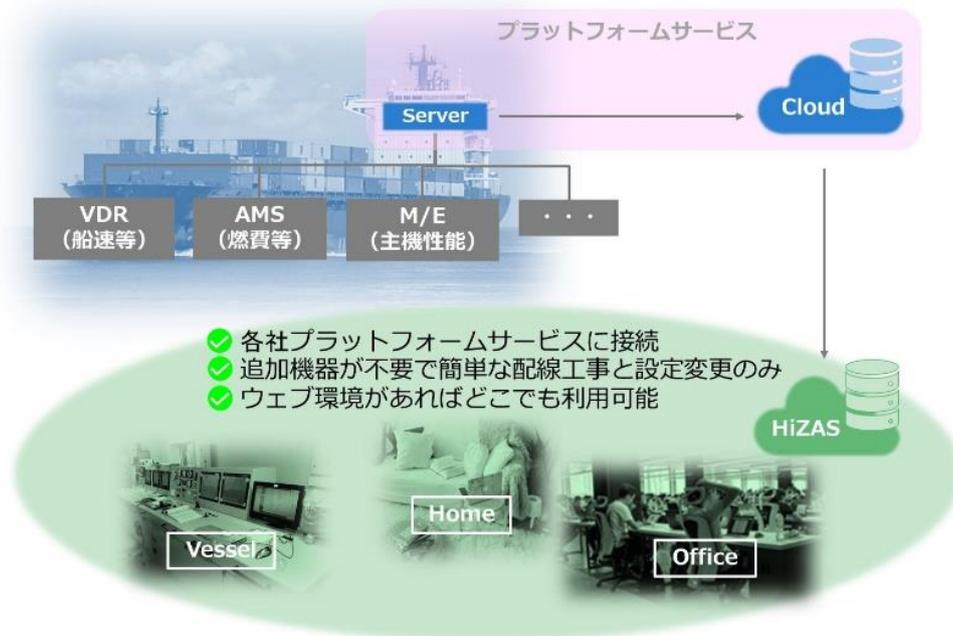
日立造船株式会社は、このほど開発した主機関性能の解析や船速・燃費などの運航データを可視化するウェブアプリケーションサービス「HiZAS[®]VDA (Vessel Data Analysis)」の販売を2022年4月より開始します。

【開発の背景】

近年、環境規制の強化や安全運航のニーズの高まりにより、船舶運航管理が高度化しており、船舶から日々収集されるデータや情報も増加傾向にあります。これらのデータ処理を行う船主と船舶管理会社では、データの解析に多くの時間と労力が費やされており、DX（デジタルトランスフォーメーション）による業務の効率化や省力化への対応が急務になっています。当社はこうした課題に対して、主機関性能をはじめとする各種運航データを陸上に送信するプラットフォームサービスを導入している船舶を対象に、データ解析業務を支援する「HiZAS[®]VDA」を開発しました。

【本サービスの特長】

- プラットフォームサービスからデータを取得することにより、船舶へ機器を追加で設置することなく簡単な配線工事と設定変更のみで利用可能です。また、クラウドサービスのため、ウェブ環境があればどこからでも接続できます。
- 当社が長年培ってきた主機関の製造実績やノウハウを活用して、主機関性能を自動で解析し、その結果を提供します。また、環境規制に応じた複数の運転モードへの対応、省燃費運航のサポート、過給機効率などの高度な解析評価も提供し、主機関の性能維持とトラブルの未然防止に寄与します。
- トラブル発生時は、導入企業と当社がデータを共有し、リアルタイムに状況を把握することで、トラブル解決に向けた迅速な対応が行えます。



本サービスのイメージ

【本サービスの概要】

- ・サービス形式 : クラウド型ウェブアプリケーションサービス
- ・機能 : 主機関性能の自動解析、アラーム通知
船速・燃費、主機関燃費悪化率の各種トレンドデータ表示
解析・可視化したデータの提供

【今後の展望】

当社は、船主や船舶管理会社に本サービスを提供するとともに、今後もお客様のニーズに応じて機能を拡充することで、船舶運航管理のDXに貢献していきます。

また、本年4月20日（水）～22日（金）に東京ビッグサイトで開催されるSea Japan 2022の当社ブースに、本サービスを出展する予定です。

Sea Japan 2022 URL: <https://www.seajapan.ne.jp/>

(終)